- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和7年7月10日

議会基本条例制定特別委員会

速報版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午後1時28分開会

○鹿浜昭委員長 それでは、定刻前ではございますが、ただいまより議会基本条例制定特別委員会を開会させていただきます。

————— ◇ —————

○鹿浜昭委員長 記録署名員2名を指名させていただきます。

くじらい委員、富田委員、よろしく願いいたします。

————— ◇ —————

○鹿浜昭委員長 はじめに、(1)委員会における検討事項についてを議題といたします。

本日第1回目の委員会でございますので、参考資料として、荒川区、板橋区、墨田区、杉並区の議会基本条例を配付させていただきました。後ほど御確認いただきますよう、よろしく願いいたします。

また、資料1ページは、本特別委員会の調査項目及び設置理由、資料2ページは、本特別委員会において検討を進めていく事項となりますが、詳細について事務局に説明を求めます。

○区議会事務局長 何点か私の方から説明をさせていただきます。そしてまた、皆さんと認識を合わせていきたいと思っております。

今、委員長からお話あった、荒川区、板橋区、墨田区、杉並区が23区で基本条例をつくっている四つの区でございます。まずその条例を参考にお配りさせていただきました。

改めて資料の1ページを御覧ください。

議会基本条例制定特別委員会設置についてということでございます。3番に調査項目、設置理由とありますが、基本条例制定に関すること。

そこで、いつがお尻なのか、スケジュール感を

少し皆さんで共有したいと思います。一応事務局といたしましては、皆様の任期、令和9年5月が選挙でございますので、今の期は、その間に、なので、本当のお尻が令和9年の1定、3月がお尻でこの話をまとめていきたいと思っております。もちろん前倒しになる、議論の結果、前倒しになるならなるでもいいことかと思っておりますが、皆さんの今期、皆さんの任期のある令和9年の1定、3月までにまとめていければと考えております。

また、皆さんの御相談ですが、委員会の開催の頻度、どの議会も本当に条例が差し迫ってくると、会議は、多分議会運営委員会でやっていたり特別委員会でやったり、何回も開いたりしてありますが、我々ももしかしたら迫ってくればそういうことはあるかもしれませんが、まずは当面は、ほかの特別委員会と同じように、会期中に1回、閉会中に1回という形でまずやっていければと考えてございます。

その上で、今度は、検討を進めていく事項、資料で言うと2ページを御覧いただきたいと思っております。

この資料、何回もあちこち出てますけれども、検討を進めていく事項ということで基本理念とか議会及び議員の活動、いろいろ書いてございますが、これは他区の、他議会の条例で多く盛り込まれている内容を例示で示させていただいております。

いずれかどこかの時点で事務局から条例案をお示しさせていただいて、そして皆様で多分きつと1条ずついろいろ御議論いただくのかなと思っておりますが、1条ずつ皆さんで御議論いただくことになるかと思っております。

検討を進めていく事項の中で、少し1個特徴、今回特別に入っているのが、議員の倫理のところの2点目です。議員としての規範に関する検討会における検討事項と書いてございますが、そもそも今日の午前中にも議員としての規範に関する検

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

討会開かせていただきましたが、過去に区長から議長、副議長宛てに、入札契約に関する今後の取組の協力をお願いということでお願いの文書を頂いております。それを受けて、議会では、こういうことを、こんな取組をしているということをスピード感を持ってお示しできるように検討会を開催することといたしました。そして、その中の議論では、少し、3項目、5項目の簡単な標語のようなものをつくってはと、そんな議論があったところで、この特別委員会ができたことに伴い、検討会での議論の内容を今度こちらの特別委員会の方に委ねると、引き継ぐこととなりましたので、そこはちょっと倫理のところでも改めて記載させていただいております。

あわせて、新しいこと、そこの検討を進めていく事項で、2ページの真ん中にもありますが、もちろんなかなか意見が分かれ統一した見解とならないこともあるかと思いますが、それは、大事なことであれば引き続き幹事長会で議論していくということで仕切らせていただいております。

簡単でございますが、もう1回繰り返しますと、皆さん御議論進めていただいて、いずれかどこかの時期で事務局の方から少し案を出さしていただき、それに基づいて議論していくことになるのかなと思っております。

そして、令和9年の3月が本当のお尻ということで、そこまでにまとめるように御議論していきたいと思っております。

簡単でございますが、1ページ、2ページの説明は以上でございます。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明を受けまして、何か御意見等ございますか。

○工藤つや委員 今、事務局長の方からお話ありましたけれども、議員としての規範に関する検討会で引き継いだ内容のもので、キャッチフレーズ等の標語の関係があるかと思うのですが、この内

容については、早々にこの委員会で取り扱うということではなくて、この条例制定の議論を進めていく中で、この2ページ目の議員倫理のところになるのでしょうかね、このあたりにたどり着いたときに議論をして、皆さんで決めていくという方向性が望ましいのではないかというふうに思っておりますので、この部分についてはこういった考え方で提案をしたいというふうに思っております。

○鹿浜昭委員長 今、工藤委員から、今まで引き継いできた検討会で標語をつくっていかうというように意見が出たということでございますが、順番は前後するかもしれないけれども、この議会基本条例ができてから標語を決めていかうかというように御意見が出ましたけれども、今の御意見に対して何か御意見ありますか。

○富田けんたろう委員 標語をつくるということ自体はもう何か。

○鹿浜昭委員長 決まったわけではないですね。

○富田けんたろう委員 決まったわけではないですね。分かりました。

○ぬかが和子委員 私も行動規範の検討会にいたので、標語の議論はいたのですけれども、工藤委員おっしゃるとおりで、やっぱりこの中で、条例の中で議員倫理や何かもしっかりうたっていかうという中で、必要に応じて、このキャッチフレーズなり標語というのを全体像出た中で考えていけばいいのかなというふうに思いますので、賛成です。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

○土屋のりこ委員 今見ていましたら、墨田区などは議員倫理に関しては必要な事項は別に定めるといって、この条例外で定められているのかないのか分からないのですけれども、もしあるのであれば、事務局の方からその内容とか、区議会、うちのところで倫理のことに関して議論するときに紹介いただけたらというふうに思います。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○区議会事務局長 別に定めると条例にあるところは、この倫理に限らず、議論の前とかにちゃんと皆様にお示しできるようにさせていただきたいと思えます。

○くじらい実委員 私も当然賛成の立場なのですが、やっぱり基本理念とか目的とかというのが定まらないと、キャッチフレーズ、どっちが先につくるのという話になってしまうので、恐らく全体の中での話をした中でつくっていただいた方がいいのかなと思えます。

○鹿浜昭委員長 そうですね。ありがとうございます。

公明党さん、どうですか。

○岡安たかし委員 我が会派は前回もくぼた委員もあつたし、事務局からも伝えていただいたと思うのですが、もともとそういうスタンスでしたので、むしろそのスタンスで進まないことに違和感を感じたので、そういうふうになることには賛成というか、もともとのスタンスです。

○鹿浜昭委員長 川村委員はどうですか。

○川村みこと委員 我が会派も同じ方向性で賛成です。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

なかなか標語ありきで進めていくということちょっと違和感があるのかなというふうにも思えますし、今皆さんの御意見聞かせていただいたところ、統一した意見ということで、反対がないということで、今の工藤委員の提案に対して、そのような方向で進めていくということによろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。そうさせていただきます。

次に何か御意見。

○富田けんたろう委員 進め方について、ちょっと何点かというか、2点ほど。

まず1点目が、その決め方ですけれども、これ

から議論を進めていきますと、例えば条文をどんどん当たっていくわけですけれども、この文言でいくんだと、そういう決を採っていくときに、これまでのこの2年ぐらいの、すみません、私の経験だと、例えば全会一致でないとなかなか決められなかった。その結果、議会の在り方検討会の方では何かなかなかアウトプットが出せなかったという、そういう思いがあるので、ちょっと改めてその決め方というところは、最初に方向性はある程度決めておく必要あるかなというのが1点目。

あともう一つは、この話、条例をつくらうという話はあくまでも議会が主体となってやる話だと思うので、そういう意味では事務局さんがいろいろ全部準備を、何でも準備してくるというよりは、例えば次はこういう話をしようとかいうのを委員会の前に、例えば正副とか、これからの進め方ですけれども、事前にちょっと話をして、これを話すためにはこういう資料が必要だよねというのを事務局に事前をお願いをしてという、何か我々議会が主体となって進めていけるような方向がいいのかなと。

ちょっとすみません、2点目はざっくりですけども、というふうに思っています。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

今は、この議会基本条例の決め方について全会一致であることが原則なのかということと、そうするとなかなか厳しい面も出てくるのかなというような、今ちょっと疑問に持たれたところで、あと2点目に関しては、いわゆるこの特別委員会の進め方というのを、事前にもうちょっと、ある程度方向性を示した中で、スケジュールを立てた中で進めていくことがよろしいのではないかなというような御意見でした。

この案について何か御意見ありますでしょうか。

○ぬかが和子委員 最初の全会派一致なのかどうかという点では、確かにそれで歯がゆい思いをすることもありますが、議会基本条例、やっぱ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

り全体の総意で決めなきゃいけないという条例だ
と思うので、議論は尽くしながら、ここの文章に
書かれてるとおり、基本的には全会派一致で、意
見が分かれて統一した見解にならない案件は幹事
長会で引き続き議論するというのでやむを得な
いのではないかなというふうに思っていますし、
それと、何をどう進めていくのかというところで、
もちろん正副とかでしっかり議論していただく
というのもいいことだと思うのだけれども、私、大
事だと思っているのは、去年、おとしでしたか、
鹿浜委員が議長だったときに、墨田区議会に、あ
れは議会改革だったけれども、調査に行つて非常
に勉強になったということがあって、やっぱりよ
りよい条例とか、よりよい在り方、ありようとい
うのを、まずこの委員みんなで先進事例を頭
に入れてイメージを持つ、視察なども行って、こ
うだよね、こういうのいいよねということを入
イメージをみんなで共有した上で、その上で、ここに2
ページ目にまとめてくださるよう、一つ一
つの項目について順番に、まずは基本理念をみ
んなで議論しましょうとか、そういうふうに順番
に決着付けていくということが必要なかなとい
うふうに思っています。

私自身のスタンスとしては、いろいろ理想はあ
るし、うちの党としてはこれをやってほしいとい
うのはたくさんあるのですけれども、ただ、や
っぱり基本条例なので、まず基本的に一致したと
ころで、みんなでこれ進めていこうよと言えるもの
がつかればいいのではないかなというふうに思
っています。

- 鹿浜昭委員長 ありがとうございます。
- 富田けんたろう委員 私も全会派一致で進めてい
くことが駄目だと申し上げたわけではなくて、少
なくとも最初決め方というところは決めておかな
いと、あと1年以上やる可能性があるわけですか
ら、というちょっと問題提起というか、提案だっ
たところなので、やっぱりベースは確かに

おっしゃるとおりで、ここに書いてるとおり、駄
目だ、やっぱりどうしても合わない場合は幹事長
会ですか、そっちの方に持っていくということが
現実的かなという気はしてますので、そこは大丈
夫です。

あと、ただ2点目のところについては、何かも
う少したき台みたいなものは早めないと、例
えはすごくベーシックな基本条例みたいなもの、
多分杉並区などは多分そうなのだと思いますけれ
ども、何かがあって、そこに対して上乘せ、横出
しではないけれども、いろいろ議論していくみた
いな、何かちょっとベースとなるものが何か早め
ないとちょっと議論するのが難しいのかなとい
う気は、すみませんちょっと今、もちろん先進事
例を見て先にいろいろ特徴を、いろいろな自治体
の特徴をインプットしていくというのも大事です
けれども、ちょっと今、ぬかが委員の話を聞いて
思いました。

- 鹿浜昭委員長 ありがとうございます。
- くじらい実委員 ちょっと私も今、富田委員の話
で、やっぱりそのたき台がないと当然議論、こ
こでどうしようと言ってもなかなか進まない
部分なので、多分区の方が今現在取り組めてるこ
ともあると思うのですね。先ほどたき台の案を
という話でしたけれども、やっぱりそこを、どれ
くらいのタイミングで出てくるか分かりませんけ
れども、やっぱりそこはちょっと必要なかなと。

それにいろいろ皆さんの意見を乗せていくとい
うところが具体的に出てこない、何となくぼや
っとした感じで、当然視察とかもあると思うので
すけれども。

- ぬかが和子委員 たしか全国の町村議長会が何か
で、議会基本条例の標準条例みたいな、何かそ
ういうものはなかったでしたか。あると思うので
すよ。標準条例、何かよくそういうのを出すんだ
よね。そういうものがあれば、それはたき台にな
るのではないかなと。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

こういった今四つの自治体の事例出てるけれども、どれかをたたき台にするわけにいかないし、そういう標準条例案みたいな、なかったかなと思うのですけれども、どうですかね。

○区議会事務局長 皆様のお考え分かりました。

市議会議長会から基本条例の案は来てないという認識なのですが、もう一度確認しますが、早めにかどうか、案を、条例案ですね、たたき台になるようなものは出させていたいただきたいと思います。

いつ出すかという、8月は少し勘弁いただければ、3定の会のときにはもちろん委員会の前にお渡しをして、それを読み込んだ上で来れるようにはさせていただきたいとは思っております、もし10月に、3定中のどこかでやるなら会議の前に皆さんにお渡しして、十分それを踏まえた上で臨めるような形では案を出させていたいただきたいと思っております。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

○石毛かずあき委員 私も本当そう思っております、この進め方という、要するに頭の中に絵が描けなければ何の議論もできないというのは本当に確かにそうなのですよ。

この基本理念にもいろいろ書いてありますけれども、区民に対する公正とか透明とか意見の把握というのは何のためにやるのかといたら、開かれた議会だったり、またその活性化だったり、それはまた何のためにやるのかということになると、この下に書いてあるのですけれども、積極的に情報発信も工夫しなきゃいけない。それはどのようなルールでどうやってどこの議会活性化で反映されるのかというルールづくりもやっぱり頭の中に入れてなきゃいけないので、ですから、先進事例というのは、先ほどお話ありましたけれども必要で、もう一つ先進事例が必要なのは、どこまで更新してるか分からないのですけれども、当然、年に1回ぐらい更新させていると思うのですよね。現状に見合ったようなもの。先ほどもありました

けれども、意見が一致しないで継続して審査しているもの、そうしたものにどれだけ行ってきているのかなというところも知りたいところもあるので、ちょっと事務局も大変な作業だとは思いますが、そこまでちょっと踏み込んでいただいて出していただけるといいのかなというふうに思うのですけれども、いかがですか。

○鹿浜昭委員長 いろいろな意味で足立区議会も今までこうやって積み重ねてきたことが議会改革についてもいろいろあるわけで、そういう内容等も含めて明文化していくということがまず大切のかなというふうに思いますので、その辺も含めて、議会事務局の方で、8月末。

○伊藤のぶゆき委員 要望でいいですか。

多分市区町村の基本的なベースがもしないのであれば、今この4区の基本条例があるではないですか。これ見ると、平成26年、平成27年、平成31年、令和4年にできて、令和4年にできた杉並区の基本条例は結構シンプルになっていて、例えば、この四つの中で共通してる部分は結構いっぱいあると思うのですよ。

例えば議会なら議会、報酬なら報酬とかと、そういったものは4区とも出しているのだったら4区ともあるから基本条例としてありではないですか。でも、中には、会派の中で、例えば会派を名のらなきゃいけないとか、会派は何人でなきゃいけないとか、中には、今見ると墨田区には政治倫理みたいなことがあるけれども、新しくできて杉並区には入ってないとか、そういったものももし一覧みたいになれば、足立区議会として今後、多分四つとも入ってるものというのがベーシックになってくると思うのですよね。

それで、四つではなくて二つとか一つしか入っていないものが、多分その区の議会基本条例としての、例外ではないのですけれども、オリジナルになってくるというもので、それを、四つでもいいのですけれども、分けてくれて、明文化すれば、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

足立区議会の中では、ベーシックなものは多分ほとんどどこでも話し合われる話になってくると思うのですよ。そこはそこでやっていく。この2区しかつくってないとか1区しかつくってないものをつくるのかつくらないのか、それプラス、例えば足立区議会の中でオリジナルにこれを定めた方がいいのかどうなのかというのは各議員から多分提案が出れば、足立区議会のオリジナルのものに近づいていくのではないのかなと思うのですけれども。

多分基本的に似たようなことは結構いっぱい書いてあるではないですか。同じようなものというのは共通認識で、多分議会としてこういう在り方があるのだというものでいいのだと思うのですけれども、ちょっとまとめるのが大変かもしれないのですけれども、それが出てくると我々も、ベーシックなものはベーシックとして話し合っ、オリジナルのものはオリジナルのもので、足立区として取り入れるのか、それは取り入れないのかという話が進めやすくなるのではないのかなという。

○岡安たかし委員 方向は皆さん言っているとおりで、市長会で何かそういうひな形みたいなものがあればそれはそれで示してもらいたいのですが、今、この四つしか23区でつくってませんから、ここにそれぞれ、例えば第1章総則、杉並区でもみんなそうなのですが、まず目的とか、括弧が書いてあるではないですか、1条の上とか2条の上、3条の上、この括弧のところだけでも表にしたらどうかと思うのですよ。そうすると、さっき伊藤委員が言った、議員報酬というのは杉並区は入ってるのですけれども、墨田区は入ってないのですよ。

こういったところが、ここは入ってる、ここは入ってないというのが、どっちでもいいのですけれども、横に四つの区があって、縦にこういう括弧の中のものでこれマル・バツでいけば分かりやすいのかなと思うのが一つ。

○区議会事務局長 今、伊藤委員、岡安委員からもあったとおり、4区を比較して入ってる入ってないとか、それは分かりやすいようにつくらせていただきますし、そこも踏まえた上で、足立区の例えばうちだけでやってる取組があるので、たたき台になるようなものも出ささせていただきたいと思えますので、そこを踏まえて御議論いただければと思います。

○岡安たかし委員 先ほどのぬかが委員の話の続きみたいにもなっちゃうのですが、視察も同時にやっていくのは大事だと思うのですけれども、スピード感がどうしても緩やかになっちゃうとか、先んじて電話等でヒアリングできる部分があれば、杉並区とか墨田区というのがこの四つの中では比較的新しいので、この辺でどういうふうに進めたのか参考、今みたいな表をつくったのかどうかとか、何か聞けるところあったらまず聞いて、それでうちもつくりたいので是非教えてくださいというところから、また必要に応じて、この四つだけに限らず、視察というのもやっていったらどうかと思うのですけれども、どうでしょうか。

○区議会事務局長 もちろん、ちょっとどこを聞くかは別としても、まとめるときに当たりましては、ちゃんと向こうにも確認をして、皆様のいろいろな御質問に答えられるように、確認した上で書類はつくらせていただきたいと思います。

○富田けんたろう委員 ベーシックのをつくった上で、そこにいろいろ足立区のオリジナリティーを出していくという方向性は非常に私も賛成をするところなのですが、何かそのベーシックの中身に踏み込んだときに、例えば杉並区のこれを見ると、正直ほとんど書いてることが何か地方自治法に書いてることをそのまま、例えば臨時会は議員の4分の1の発議でできますとか、常任委員会を議会におきますとか、全部自治法に書いてることがそのままなっちゃうるので、うちの議会としては多分、そんなことは別にベーシック

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

に盛り込まなくてもいいのかなという気は、すみません、ちょっと杉並区を見て思っちゃったというのが、（「それは個別議論」と呼ぶ者あり）そうですかね。すみません。

○土屋のりこ委員 先ほどの岡安委員からの発言で、他区に事前に質問して調査をされるということであれば、是非制定に至った経緯、どういう経緯に至ったのかというところは是非各区に聞いていただきたいということと、住民との関係強化、議会改革ということが内容落とし込まれているかと思えますので、そういったあたりの工夫した点等、区としての特色を出した点、何なのかということも併せて聞いていただけたらいいのではないかなと思うので、お願いしたいと思えます。

○区議会事務局長 そのようにさせていただきたいと思えます。

○工藤つや委員 ちょっと遡りますけれども、先ほど富田委員の方から御提案のあった、まず決め方というか、ルールについては、やっぱりちょっと明確にしなくちゃいけないのかなというふうに思っています。

私どもとしては、やはり全会派一致というのは要望したいと思えます。ただ、ぬかが委員からもちょっとお話ありましたが、在り方検討会の中で、一つの会派が反対、ほかの五つの会派賛成というときに、一つの会派が反対だからこれもうなしね、見捨てちゃいましょうという、その考え方ではなくて、その一つの会派に対して、反対してる会派に対してどうやったら賛成していただけるかというその妥協点をみんなで見付けながら丁寧に対応していくというような考え方で前に進めていくことが私大事ではないかなというふうに思っています。

あとは、先ほど各委員方からたたき台の部分のお話がありましたので、その部分については、正副委員長、それから事務局と調整をした上で、次回の委員会なのか次の委員会なのか分かりませ

んけれども、ちょっと作業量が膨大になって本当に申し訳なく思うのですが、その辺はちょっとそちらの方で調整していただいて、またお示しをしていただければと思っています。

○水野あゆみ委員 私もこの条例制定というのは本当に必要なのかなというふうになんか疑問の部分もあったのですが、やっぱりいろいろな区を見てみると、足立区議会の中でもなかなか決まっていなかったような会派の中のことであったり、そういったことを細かく議論できる機会でもあるのかなというふうに思いました。

なので、やっぱり決定する機会に、例えば13人の会派と2人の会派で代表が出てるとしても、全会一致じゃないと決められないというのはまたそれもちょっと不公平なのかなというふうに思う部分もあるので、例えば会派でも2人で会派が結成できるか、意見がばらばらであってもいいのかというか、そういったいろいろな、今まで会派のことが事務局の方でも聞いたときになかなか決まっていなかったという部分もあったので、そういったことは、今回この機会にいろいろ議論できるといいのかなと思いました。

なので、採決の部分でも、やっぱり全会一致が基本というのはまた、違っちゃいますかね。ただ、墨田区の方を見ると会派についてもいろいろ何人からオーケーにするとか、そういったことも書かれているので。

○鹿浜昭委員長 それは各区の決まり事です。

○水野あゆみ委員 そういった機会には話せるというのかなと思いました。

○鹿浜昭委員長 今、工藤委員から、いわゆるこれはこのメンバーを中心に議会基本条例というのをつくり上げていくわけで、一つの会派が反対だからといって、それをなしにするのではなくて、やはり、どうすればできるのだということ、つくり上げること、建設的な御意見をいただきながらこの基本条例を進めていくということの基本理念

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

として私たち持っていかないと、なかなかこれ難しくなってくるのは間違いない。それぞれ考え方はあるかと思うので、是非その辺は皆さんも建設的な御意見をいただきながら進めていくということを基本理念に持って、是非今後進行していきたいなど、そんな私も思いでございませし、今回のこの委員さんも、私は、各会派の代表者ということで出ていただいておりますが、やはりこの議会基本条例は全員でつくり上げることがまず基本かなというふうにも思っております。

やっぱりこの理念を共有するということが大切なので、その辺も各会派に持ち帰っていただいて、いろいろな御意見もいただくということを必要だと思っておりますし、そういった意味では有識者の方に講演いただいて、研修会ではないのですけれども開いていくという方向性も、これも必要だと思う。そうすると、統一見解ができると思うんですね。それにはやっぱりさっき言った議会基本条例の案がないと、なかなかこれは難しい。その案をたたき台として、いろいろな研修会も開きながら、当然先進自治体の視察も行きながら、そんなような方向で進めていきたいなど私はちょっと考えているのですけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○土屋のりこ委員 この出されてる次第の2ページの方でも確認はされているかと思うのですが、今、運営されている足立区議会の在り方を変更することに関しては、ここの場合ではなく、各派幹事長会等で議論すると。

例えば会派の態度を一致させるのかどうなのかというふうな、議決拘束をなければならぬとかいうふうなことまで踏み込むことに関しては、各派幹事長会でということの整理だと思ひますので、その点だけ確認をしておきたいと思ひます。

○区議会事務局長 今、土屋委員おっしゃったとおり、2ページの下にある「なお、」以下は、この委員会ではやらないし、あと新しいことだとして

も、皆さんまとまるなら、それは基本条例に入れてもよろしいのかなとちょっと思ひます。そこは議論の仕方というか、議論の結果なのかなと思ひております。

○鹿浜昭委員長 ありがとうございます。

私たちも、今まで議会改革の検討会をずっと進めてきていた中で、なかなかこの結論に結びつかなかったので、2年も3年も検討会をやっているながら。やっぱりどうしても譲れない、お願ひしたいという意見が平行線になってしまうというのは、これはもうやむないことなので、その辺はやっぱりここに書かれているとおひ、進めさせていだきたいなという思ひでもございませすので。

ほかにいかがですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○鹿浜昭委員長 よろしいですか。

それでは、今のとおひ、決定事項に関しては、皆さんのつくり上げるという意識を持って御意見をいただきながら進めていきたい、そんな思ひでもございませし、先ほどその進め方に対しても、私先ほど述べさせていだいたように、研修会、先進自治体の視察も近々にちょっと、この次の方向性でお話しさせていだきたいと思ひますけれども、その辺も含めて進めていければというふうに思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは意見なしということで御了承いただきたいと思ひます。

次に、先ほども出ました視察についてを議題とさせていただきます。

本特別委員会における議論を深めていくために、他議会の議会基本条例についての視察を実施したいと思ひております。

この件に関して、先ほどぬかが委員からは出ましたけれども、ほかの方、御意見ありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○鹿浜昭委員長 よろしいですか、進めていくとい

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

うことで。

まず、それで23区で今、墨田区は一昨年、実行させていただいて、やらせていただいたので、墨田区を除いて、できれば23区特別区の残りの三つの議会の視察ということで、まずは考えていきたいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○鹿浜昭委員長 よろしいですか。

それでは、どこの区にするかは正副委員長の方で話し合いで決めさせていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

視察の詳細については、後日、各委員宛てに通知することにさせていただきたいと思いますので、御了承お願いいたします。

————— ◇ —————

○鹿浜昭委員長 それではその他に移りますけれども。

○区議会事務局長 確認、今、視察の話ありましたので、8月のとき、8月の閉会中のときは視察で少し調整させていただきたいと思います。そして、何度も言ってますけれども、定例会、3定のときのこの会議の前には、たたき台の条例案をお示しさせていただきたいと思います。それで、8月は視察で調整、3定のときには条例案をお示して議論いただくと、そんなような形で今進めたいと思っております。

○鹿浜昭委員長 今の予定でよろしいですか。

何か御意見あれば。

○ぬかが和子委員 今のでいいのですけれども、日程が、今日午前中に議運をやったときにも、この特別委員会だけが閉会中の日程等々も示されてなくて、視察の場合だと相手の都合もあるだろうと思うのですけれども、何か今後について、やっぱりほかの常任委員会と同じように、これも自治法に定められた特別委員会なので、常任委員会同様

に日程をちょっと早め早めに今後示していただけるとありがたいと思うのですが。

○区議会事務局長 本当に今回はすみませんでした。同じように、先々にちゃんとお示しをさせていただきたいと思いますが、今回は申し訳ございませんでした。また8月に改めて調整させてもらうのと、先々ちゃんと1年間、今だと3月まで出ますので、同じように組ませていただきたいと思います。

○富田けんたろう委員 例えば、事前説明みたいなものというのは、この委員会は、それも必要に応じてという扱いになるのですかね。

○区議会事務局長 今日はちょっとこういう状態でしたけれども、もちろん事前説明必要なものは、事務局が責任を持って皆様に御説明した上で委員会に臨んでもらうようにさせていただきたいと思っております。

○工藤てつや委員 視察の件なのですけれども、議会の場所にもよると思うのですけれども、何かよくワンボックスカーをチャーターして行ったりとか、結構お金掛けて、コスト掛けて行っているところもちょっとどうなのかなというところもあって、その辺、勉強会などの講師の謝礼代だとかも含めて、なるべくコストを掛けない形で考えていただきたいなという、ちょっとそういう要望があるのですけれども、いかがでしょう。場所にもよると思いますが。

○区議会事務局長 委員会の視察は、一番多いのが庁用車、区役所の庁用車を借りて行くということが一番多いです。それはそれで費用掛かっておりませんので、庁用車で行くか、場所によっては、御相談ですけれども現地集合とか、現地解散とか、あとは、講師はもちろんお金掛かるのでそれは必要な講師とかで、もちろん今日の2億円の話ではありませんけれども、無駄がなく、お金を使うべきところにそれぞれ御相談しながらやらせていただきたいと思います。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○工藤てつや委員 ちなみに、例えばかなり北海道に行くとか九州に行くとか、そういうことも内容的には考えられる状況、例えば宿泊を要する視察とかあるのでしょうか。

○区議会事務局長 もちろんそれを駄目だというのは何もないので、それは議論で本当に必要かどうかということですね。

ちょっとお答えになっているか分かりませんが、けれども、本当に必要があれば、それは当然行くべきものかなと思っております。

○鹿浜昭委員長 あまり特別委員会は宿泊を伴うことは今までないのかなと思いますが、本当に必要なものであれば是非、やっぱりよりよいものをつくり上げていきたいというのはみんなの願いでもあるかと思えます。

そういった意味でも、とにかく建設的な御意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、是非、積極的に何でもやっぱりトライしていくという、そんな思いもあるかと思っておりますので、とにかく、ある意味の議会の、足立区議会の夜明けになるのかなというふうに思えますし、是非御協力のほどよろしくお願ひしたいなというふうに思えます。

よろしいでしょうか。ほかに。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○鹿浜昭委員長 いいですか。

それでは、これにて議会基本条例制定特別委員会を閉会させていただきます。

午後2時11分閉会

速報版